

平成24年度事業報告

1. 会館の財政運営について

(1) 会館の基本資金である会館建設基金（出資金）については、出資依頼を中止しています。そのため、新たな出資者はありませんでした。

出資金の返済は、退職による返済が416人、4,266,000円でした。この結果出資金の残額は99,995,000円となりました。平成24年度末の若年退職者は、164名（小中122名、県立42名）と大幅に増えています。定年退職者297名（小中175名、県立122名）と若年退職者を合わせた総数は、461名（小中297名、県立164名）でした。 決算報告書 P10

出資金の寄附の申出は、2名18,000円でした。

《会館建設基金・出資状況 平成20～24年度 5年間の推移》

平成	出資額	返済額	出資残額
20年度	30,000	3,744,000	115,073,000
21年度	12,000	3,342,000	111,743,000
22年度	0	3,822,000	107,921,000
23年度	0	3,660,000	104,261,000
24年度	0	4,266,000	99,995,000

(2) 地代家賃は、100%納入されています。

(3) 会議室貸料は、前年と比べ約22%の減となりました。会館共済キャンペーンの推進本部としての会議室使用や、県かるた協会に加え日本将棋連盟熊本県支部の将棋練習会等への会場無償提供なども貸料減の原因です。 決算報告書 P11・12

《会議室・利用状況 平成20～24年度 5年間の推移》

平成	出資者		一般		計		対前年	対20年度
	件数	貸料	件数	貸料	件数	貸料	貸料	貸料
20年度	245	1,723,390	216	4,807,499	461	6,530,889	93	100
21年度	216	1,878,218	192	4,333,035	408	6,211,253	95	95
22年度	172	1,293,363	154	3,511,205	326	4,804,568	77	74
23年度	188	1,685,366	223	4,453,059	411	6,138,425	128	93
24年度	176	1,228,132	166	3,576,948	342	4,805,080	78	74

(4) 会館共済事業の集金手数料は約3,000万円と安定しています。また教育会館の特別給付金は、申請期間を3年間に延長しましたが年間給付額が1,400万円前後で安定しています。 決算報告書 P16

《特別給付金・給付状況 平成20～24年度 5年間の推移》

平成	出産祝金	休職見舞金	入院見舞金	退職祝金	満期祝金	医療プラン	合計
20年度	1,873,000	2,100,000	5,095,000	910,000	285,000	3,815,000	14,078,000
21年度	1,547,000	1,200,000	5,773,000	1,010,000	0	4,309,000	13,839,000
22年度	1,701,000	1,150,000	5,708,000	1,290,000	0	3,739,000	13,588,000
23年度	1,732,000	1,500,000	5,367,000	1,200,000	0	4,253,000	14,052,000
24年度	1,525,000	900,000	5,992,000	1,160,000	0	4,853,000	14,430,000

(5) 退職者福祉年金事業は、平成24年3月末で個人口を終了、6月末で団体口の終了手続きを完了し、福祉年金特別会計の整理残163万円を一般会計に繰り入れました。 決算報告書 P13

(6) 会館経営の安定化のための各種引当は、継続的に引当額を高めてきました。

《各種引当・状況 平成20～24年度 5年間の推移（万円）》

平成	基本財産 減価償却	建物修繕	特別給付 準備	記念事業 準備	計	出資金 返済	退職給与	引当金 総計	繰越金	現預金 総計
20年度	8,531	4,200	4,702	1,405	18,839	1,900	1,732	22,471	2,899	25,372
21年度	9,271	4,700	4,802	577	19,351	2,300	1,170	22,820	2,654	25,478
22年度	10,017	3,500	4,802	789	19,110	2,700	1,370	23,178	1,924	25,105
23年度	10,783	3,300	4,802	989	19,876	2,900	372	23,146	3,416	26,563
24年度	11,549	3,800	4,802	10,89	21,241	3,200	473	24,914	2,287	27,203

*引当金の計上基準は次の通りです。

- ・基本財産減価償却引当 当期末の基本財産の減価償却額を引当
- ・特別給付準備引当 特別給付金の1年間の給付額の過去最高額の3倍を引当
- ・出資金返済引当 出資金残額の半額を目指して引当
- ・建物修繕引当 基本財産42,400万円の20パーセントを目指して引当
- ・記念事業準備引当 5年ごとの記念事業の資金1,000万円を5年間で引当
- ・退職給与引当 当期末の退職給与債務を引当

(7) 会計処理は「区分経理」により「継続事業（公益目的事業）」の適正な執行が必要です。そのため、ユース会計社（吉永公認会計士事務所）との契約を継続し、適正な処理と円滑な執行に努めました。また会員管理や収納方法の合理化について、コープ熊本と県教職員組合、教育会館の3者で協議を進めています。

2. 管理業務について

(1) 夜間や休日の管理警備は、2名の職員が交替制で勤務し、会館を常時使用できるようにしています。1名の病気のため、6月より臨時の態勢で対応してきました。

会館閉鎖は12月29日から1月3日までの6日間でした。

(2) 安全管理及び設備・備品の保守については、保守契約を次のように行っています。

No	内 容	委 託 先	委 託 料
1	火災保険	共栄火災	保障 6億4,756万8千円 年掛金 254,350円
2	清掃管理	日本ビル管理	月 253,050円 × 12 エアコン 57,750円 × 2 ガラス 78,750円 × 1 年 3,230,850円
3	塵芥収集	熊本清掃社	月 23,940円 年 287,280円
4	エレベーター保守	三菱電機 ビルテクノサービス	月 59,850円 × 12 年 718,200円
5	防犯カメラ保守	三菱電機 ビルテクノサービス	月 28,000円 × 12 年 336,000円
6	自動ドア保守	熊本ナブコ(株)	年 210,000円
7	電話保守	NTT西日本	リース料月 57,004円 × 12 年 684,048円
8	電設保守	藤本義美	月 28,000円 × 12 年 336,000円
9	電気メーター交換	九州計装 エンジニアリング	15年交換 546,000円 1年当たり 36,400円
10	消防設備保守	ユージー防災設備	年2回 235,200円
11	空調設備	パナソニック	発生時払い
12	ロスナイ	空研工業	発生時払い

13	電算管理費 (基本契約)	肥銀コンピューター サービス	月 157,500円 ×12 年 1,890,000円
14	会計処理	ユース会計社	月 49,350円 ×12 年 592,200円
15	複写機リース	リコーリース	月 12,600円×12 年 151,200円
	複写機リース	リコーリース	月 8,295円×12 年 99,540円
16	浄水器リース	日本トリム 三菱UFJリース	リース満了により買い取り 1,050円
17	ホームページ管理	(有)オフィスウェブラン	年 274,540円
18	AED保守 パッドカートリッジ バッテリー	総合警備保障	次期交換 2013年6月 年 10,000円
			5年交換 34,000円 今年度本体買い替え時期
計			年間保守委託料 9,380,858円

(3) 災害の未然防止と万一の災害に備えるため、年2回の防火対策委員会を開催して防火管理組織・自衛消防組織を編成するとともに、災害発生時の避難訓練を実施しました。

第1回目の避難訓練は、5月24日に火災発生による避難訓練と、駐車場火災発生時の「移動式粉末消火器」の使用訓練を実施しました。

第2回目の避難訓練は、11月19日に「白川校区5・7町内と合同避難訓練」として実施しました。これは7月12日の九州北部豪雨により九品寺界限も浸水・冠水被害が発生したため、教育会館を地域の一時避難場所に指定するための訓練でした。1月には「災害時の一時避難場所提供における施設利用に関する協定書」を地域自治会と締結し、継続的な訓練を実施していくことになりました。

また専門業者（ユージー防災設備）による消防設備の点検を9月21日と3月15日の年2回実施しました。

(4) 建物の保守関係としては、1階部分のキャビネットなどの転倒防止を行いましたが、完了していませんので引き続き取り組みます。1階トイレ下ピットの漏水は、マンホールのふた部分の舗装工事を行いました。当面は毎月の点検とポンプにて汲み出しを行います。立体駐車場のボルトの緩み対策は4月発注を行い、7月工事の予定です。

空調、雨水浸透型舗装の補修、省エネ型水光熱設備の導入等の「大規模改修」については、検討委員会を開催し、中長期的な対策を行っていきます。

(5) 「教育会館ニュース」を2回（6月、12月）発行し、会館の事業等の広報に努めました。また、ホームページを活用してタイムリーな情報の開示と発信に努めました。

3. 福祉共済事業について

(1) 会館共済I型『遺族生活給付金共済』『医療プラン』『介護プラン』

発足28年目を迎えた会館共済は、新規加入者が261名で加入者総数が12,056名となりました。前年より330名の減でした。『遺族生活給付金共済（生命保障）』に付加する『医療プラン』は、発足後12年間加入者が増加し続けていましたが、初めて91名減の5,747名となりました。

昨年導入した『介護プラン』は、初年度1,684名から814名増の2,498名となりました。

加入者の死亡に伴う遺族生活給付金については、平成23共済年度（平成23年9月1日～平成24年8月31日）は、死亡19人（前年度12人）で給付総額は2億600万円（同1億6,000万円）でした。また、医療プランの給付は193件（同193件）で給付総額は1,729万7,000円（同1,615万円）でした。医療給付は概ね安定していますが、死亡給付は10人以上1億5千万円を超える年度が増えています。

会館の特別給付金（会計年度、平成23年4月1日～平成24年3月31日）は申請期間を3年間に延長して3年目となりました。給付額は年間約1,400万円前後で安定しています。また非常準備基金とし

て4,800万円引き当てています。給付状況の対前年比較は下記のとおりです。

《死亡・高度障害及び入院給付金 平成19～23共済年度（9～8月） 5年間の推移（万円）》

*13年度 16 204,000,000

平成	死亡・高度障害 給付		入院 給付	
	件数	給付額	件数	給付額
19年度	9	141,000,000	202	12,648,000
20年度	8	130,000,000	184	13,512,000
21年度	13	193,000,000	190	14,599,000
22年度	12	160,000,000	193	16,150,000
23年度	19	206,000,000	193	17,297,000

《特別給付金の給付状況 平成24年4月1日～平成25年3月31日》

NO	内 容	給付件数	前 年	
1	入院見舞金	5日以上	294件	279件
		30日以上	47件	45件
		60日以上	36件	23件
2	医療プラン・初期入院（1日～4日）	230件	215件	
3	退職見舞金	15件	22件	
4	出産祝金	119件	138件	
5	退職祝金	116件	120件	
6	満期祝品	0件	0件	
給付 総件数		857件	842件	
給付 総額		14,430,000円	14,052,000円	

(2) 会館共済Ⅱ型（貯蓄型生涯保障共済）

新規加入者は9名、退職等により75名の減で加入者総数は910名（前年度947名）になりました。

(3) 傷害プラン

第22次より導入した『傷害プラン』の新規加入者は4名で、加入者総数は135名（前年度134名）でした。

(4) 会館共済特別給付金の申請に対しては、給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月2回開催し、半月毎に審査・給付の体制をとっています。

(5) 共済事業の制度や運営のあり方等については、制度検討委員会で検討を行いました。「自主共済制度の『少額・短期』給付制度」への移行として、退職見舞金の給付規程を「1年以上5万円、2年以上10万円の給付」を「1年以上10万円」に変更し、当面2年目10万円は「共済会計から5万円、一般会計渉外費から5万円の給付」で対応しています。

4. 教育文化事業について

(1) 教育会館設立25周年を記念して始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの20年間で県内のべ527校に寄贈しました。今年度も寄贈校31校全てを訪問して寄贈しました。これまでの寄贈総額は2,840万円です。

平成24年度の寄贈校は下記のとおりです。

《小・中学校（25校）》 ○は重点校（1年目）

地 区	学 校 名			
荒尾・玉名	府本小学校	荒尾清里小学校	南関第三小学校	滑石小学校
鹿 本	岳間小学校			

菊池	○西合志東小学校
阿蘇	産山小学校 久木野中学校
熊本	川口小学校 田底小学校
上益城	木倉小学校 乙女小学校
宇城	三角中学校
八代	氷川中学
人吉・球磨	一勝地小学校 山江中学校 湯前中学校 相良中学校
水俣・芦北	葛渡小学校 湯浦中学校
天草	魚貫小学校 栖本小学校 久玉小学校 河浦中学校 今津中学校

《県立学校（3校）》

県立学校	○熊本農業高校 ○南稜高校 ○鹿本農業高校
------	-----------------------

(2) 教育会館寄席

『会館共済第25次キャンペーン企画』として行った教育会館寄席は、学校の児童生徒に対して是非行なってほしいという声から、教育会館寄席・学校寄席を開催して3年目になりました。「会館ニュース」や「ホームページ」にて公募し、今年は4校で開催しました。県立・高等学校での開催は初めてでした。28日の最終日に、開催校4校の代表者とさん喬師匠はじめ出演者との反省会を開催し、教育会館が目指す学校寄席について意見交換を行いました。

《開催日時と開催校》

- ・11月26日（月）熊本市立千原台高校
- ・11月27日（火）上天草市立阿村小学校
- ・11月28日（水）熊本県立盲学校、熊本県立松橋支援学校

(3) 熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部との共催事業

熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部の事業を支援し、日本の伝統文化や芸能の振興を図るため、月1回の練習会や大会等に会場を無料で提供しています。

2月24日(日)には熊本県かるた協会主催の「第25回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」を後援しました。今年も県下各地から多数の参加があり熱戦を繰り広げました。

(4) 教育会館アートのひろば

会館新築移転10周年を記念して、平成18年8月より『教育会館アートのひろば』を開催しています。熊本の教育に関係深い方の作品を、教育会館玄関ホールに展示しています。

第6期（平成23年10月～24年5月）

- ・1月期は、平江佳幸氏（玉名町）の彫刻展
- ・2月期は、片岡玉子氏と襲嘯氏の現代秀作版画展
- ・3月期は、原由紀子氏（玉名市）の油彩画展
- ・4月期は、福島露子氏（甲佐町）の油彩画展
- ・5月期は、坂口節夫氏（熊本市）の油彩画展
- ・8月期は、浜田知明氏（熊本市）のパネル展

第7期（平成24年10月～25年5月）

- ・10月期は、松下佐代氏（熊本市）の油彩画展
- ・11月期は、梅田正治（御船町）の水墨画展
- ・12月期は、安田賢一氏（熊本市）の油彩画展
- ・1月期は、日本画教室展
- ・2月期は、大塚浩平氏（嘉島町）の水彩画展
- ・3月期は、平田尚子氏・清田至氏（天草市）の油彩画展
- ・4月期は、岡田繁忠氏（熊本市）の油彩画展
- ・5月期は、村田紀美子氏（熊本市）の水彩画展

(5) その他の教育文化事業として、メンタルヘルス『こころゆったり講座』を8月3日（金）に教育会館で開催し、臨床心理士高木ひろみ先生のご講演「こころと身体のリラックス法」と昼食でゆっくりした時間を過ごしてもらいました。参加者は18名でした。

育児休業者現場復帰支援『カムバックセミナー』を11月20日（火）に火の国ハイツで開催しました。県教育委員会学校人事課の松本参事のご講演「育児等に関する諸制度の活用について」と教育政策課福利

厚生室の塩宮参事のご講演「現場復帰に伴う諸手続きについて」の後ティータイムを楽しんでもらいました。参加者は60名で、託児は56名でした。

また、18歳までの子どもの電話相談活動を行っているNPO法人『チャイルドラインくまもと』を支援するとともに、教職員向けの電話相談室『レモングラス』を毎週火曜日に開設しています。